



おりがみで十五夜

ここで少し・・・雑学を。

9月のお月見にはなぜ、お団子をお供えるのでしょうか。
それは昔、月を信仰していたからという説があるようです。
昔は、夜暗くなるまで農作物の収穫作業をしていると月明かりが頼りでした。
電気による明かりがない時代には、月明かりのおかげで収穫作業ができていたということです。
収穫作業が無事終わられましたという感謝の意を込めて、お米の粉で月に見たててお団子を作り、お米が無事に収穫できたことに感謝し、次の年の豊作も祈願したようです。

今では電気があって当たり前。でも、昔はそうじゃなかったんですね。
このコロナ禍にもこの考え方、どこか共通している気がするの私だけでしょうか。
2年までは遠くの人にも電車や飛行機を使えばすぐに会えるのが当たり前、大人数で集まって、楽しくおしゃべりしながらおいしいものを食べたり、遊んだりできるのも当たり前。でも今はそうではなくなっていますね。当たりのことを当たり前だとは思わずに、日々を大切に過ごしていきたいですね。
子どもたちにも、当たりのことに感謝できるように伝えていきたいなと思っています。



真ん中のお団子であれば
年少さんでもつくれそうではないでしょうか。
親子でそれぞれお団子作ったのを合わせれば
より楽しめそうですね。

作り方（お月見だんご）

<https://origamikko.com/tukimidango-dai/>



いろいろなうさぎさんに親子でチャレンジするのも
いいですね。
作るのが苦手なお子さまや1歳2歳さんには
自由にお顔を書いてもらおうとオリジナルのうさぎさん
ができそうですね。

作り方（うさぎさん）

<https://origamikko.com/usagi-kaou/>

